

2024年

5月 第43号

協力

環境特集

目次

● 大成建設株式会社 社長メッセージ	01
● 安全衛生環境協力会連合会会長、環境委員長メッセージ	02
● 大成建設株式会社 本部長メッセージ	03
● 安全衛生環境協力会連合会 環境委員会の取り組み	04
● 支店・本部安全衛生環境協力会の取り組み	14
● サステナビリティ経営推進本部より（環境負荷低減活動：T S A）	16
● TAISEI Partners Siteをご活用ください	17

大成建設株式会社安全衛生環境協力会連合会

「協力（環境特集）」は、必ず安責者・作業責任者（職長）が常に携帯（冊子やスマホにダウンロード）するようにお願いします

二次元コード



「一清掃 二作業」「日々改善 日々学習」



大成建設株式会社

社長 相川善郎

の力を高め発揮していける企業風土を醸成して、高いエンゲージメントをもって活躍できる職場環境を構築していきましょう。

今年度は「TAISEI VISION 2030」の実現に一定の道筋をつけるための第二フェーズとして中期経営計画(2024-2026)が始まります。環境問題をおこした企業に対する世の中の対応が厳しさを増す中、今後も我々は決して気を緩めることなく真摯により一層高いレベルの環境管理を徹底していかなければなりません。

「環境事故ゼロ」を継続するため全社一丸となって邁進していきましょう。

然しながら近年、環境事故には至らずとも、数件の特定環境事案、警鐘環境事案が発生しています。それを鑑みると、特定環境事案、警鐘環境事案も含めた環境事案防止に対し、捉えるべきリスクが見逃されていると感じます。ついては、今年度は特に以下の項目に注力して必ず実施してください。

当社がすべきこと

- 1) 環境パトロール者を含む社員に対する環境教育のさらなる強化
- 2) 石綿（アスベスト）、工事排水をはじめとする環境パトロールの強化
- 3) 日々の現場巡視による環境リスクの抽出と排除の徹底

安全衛生環境協力がすべきこと

- 1) 安衛協環境パトロールによる環境教育及び指摘事項の水平展開
- 2) 職長会を中心とした環境パトロールの実施と環境リスク排除の徹底

【大成スピリット】
自由闊達 価値創造 伝統進化
【TAISEI VISION 2030】
進化し続ける The CDE³ カンパニー
人々が豊かで文化的に暮らせる
レジリエントな社会づくりに貢献する先駆的な企業グループ

昨年度、環境事故ゼロを2020年度から4年間継続して達成することができました。皆さんの日々の努力に感謝申し上げます。当社は昨年創業150年の節目を迎えました。これはひとえに長きに亘り社員全員が脈々と継承してきたチャレンジ精神と、事業を継続・進化させた結果の賜物です。あらためて感謝申し上げるとともに、今年度が次の時代に向けて足元を固める年となるよう、社員一人ひとりが自分の仕事に誇りをもって、いきいきと働き、思う存分に自分

一人ひとりが環境管理の重要性を理解して「環境事故ゼロ」を継続しよう！

会員各位には、日頃より安全衛生環境協力会の活動にご尽力いただき厚く御礼申し上げます。
大成建設および安全衛生環境協力会は、おかげさまでもちまして2020年度から「環境事故ゼロ」を4年間継続しております。これは会員及び、協力会社の作業員の方々が日々現場で環境管理に真摯に取り組まれている証です。

然しながら当該期間中、環境事故には至らなかったものの、特定環境事案、警鐘環境事案は数件発生しました。ひとたび環境事故をおこしてしまうと、その影響は現場内に止まらず、現場外の第三者にまで及びかねません。世の中が環境問題を重要視しているのは時代の趨勢であり、我々はその社会情勢に乗り遅れることなく追従していくために環境事故は絶対におこしてはなりません。

そのため安全衛生環境協力会は、次の事項を主体的に推進し、今年度も必ず「環境事故ゼロ」を継続させます。

1. 環境教育による末次業者までの環境知識、環境意識の向上
2. 安衛協及び職長会環境パトロールにおける環境ルールの周知と環境リスク排除の徹底

環境事故は我々一人ひとりの小さな気づきで絶対に防ぐことができます。事業主は環境管理の重要性を正しく認識したうえで、配下の作業員に対して環境教育を具体的に、分かりやすく繰り返し実施し、環境知識、環境意識の向上に努めてください。安衛協環境パトロールでは安衛協環境委員が自ら先頭に立って実践し、環境ルールの周知と、環境リスクの排除を徹底し、指摘事項は安衛協として支店環境委員会を通して水平展開します。また、「協力（環境特集）」や安衛協環境委員の経験等も踏まえたOJT指導を作業員に対して実施します。一方、作業所はすべての専門工事業者が職長会活動に積極的に参加し、職長会を中心とした環境教育と環境パトロールを繰り返し実施してください。他現場でおきた環境事故を決して「他人事」と思わず、自分事として環境事故防止対策をご自身の現場で実践してください。

安全衛生環境協力会の一人ひとりが環境管理の重要性を意識して日々の業務に取り組み、大成建設と互いに協力しながら「環境事故ゼロ」を継続していきましょう。



安全衛生環境協力会連合会
会長 福田 英明

環境関連法令等を順守して「環境事故ゼロ」を継続しよう！

会員各位におかれましては、日頃より安全衛生環境協力会の活動にご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

おかげさまでもちまして「環境事故ゼロ」は、2020年度から継続して達成することができました。これは皆さんが日頃より絶え間なく環境管理にご尽力いただいた賜物であります。心より厚く御礼申し上げます。

一方、昨年度は環境事故には至らなかったものの、PCBに係る特定環境事案を1件、工事排水に係る警鐘環境事案を4件発生させてしまいました。

環境事故はひとたびおこしてしまうと、法令違反の適用は環境事故をおこした「あなた（行為者）」だけではなく、行為者の「事業主」と元請会社にも及びます。また社会的信用の失墜は免れません。そのためにも環境事故は絶対におこしてはなりません。「知らなかった・聞いていなかった・大丈夫だと思った」では済まされないのです。環境事故に関する意識・知識の向上を図り、トラブルは放置しないですぐに対処してください。

「環境事故ゼロ」を継続するために、安全衛生環境協力会環境委員会として次の項目の取り組みに注力してまいります。

1. イラスト等を用いた分かりやすい環境教育を末次業者まで実施
2. 環境パトロールを職長会とともに実践し、環境リスクの排除を徹底

安全衛生環境協力会の環境事故防止に対する取組み強化の一環として、各支店の安衛協環境パトロールに同行し、環境トラブル撲滅のための現地OJT等を実施しました。現地OJT等を通して、各社職長のみならず末次業者に対して、この「協力（環境特集）」の周知が不十分であることがわかりました。送り出し教育等の環境教育にこれらの資料を必ず活用してください。また、災害防止協議会にて毎回「協力（環境特集）」を周知するようにしました。

今年度も各支店の安全衛生環境協力会環境パトロール、もしくは安全衛生環境協力会環境委員会に参加し環境事故防止に対して「日々学習」で自己研鑽に励み、皆さんと一緒に意識・知識の向上に努めてまいります。

「協力（環境特集）」は、環境事故をおこさないために皆さんの手元にあります。「環境事故をおこさないために守るべき6項目」を順守して、今年度も「環境事故ゼロ」を継続していきましょう。



安全衛生環境協力会連合会
環境委員長 高山 義典



安全本部長
波多江 祐輔

— 環境事故は絶対に防ぐことができる！ —

日頃より現場において、社員と安衛協が一体となり環境事故撲滅に向け、精力的に活動をいただいていることにまずは感謝申し上げます。

「環境事故ゼロ」は、2020年度から継続して達成することが出来ました。ひとえに皆さんがグループ環境行動指針に基づき「環境事故は絶対に防ぐことができる！」という強い決意のもと、環境管理の徹底を図った賜物であります。

当社は昨年創業150年の節目を迎えましたが、今後の礎をさらに盤石なものとしていくためには決して会社の信用の根幹を揺るがしかねない環境事故をおこしてはなりません。

一方、環境事故には至らなかったものの、特定環境事案を1件発生させてしまいました。また警鐘環境事案は工事排水のトラブルで4件発生させてしまいました。

環境事故・特定環境事案は労働災害と違い、ほとんどが人為的原因である横着や不知等による法令違反により発生しているのが現状です。特に作業所の重点管理事項に掲げた工事排水、PCB、石綿（アスベスト）、建設廃棄物と汚染土壌の5項目による環境トラブルは絶対におこしてはなりません。そのため環境教育と環境パトロールを重点的に実施し、成功体験に埋没することなく、失敗原因と対策の共有を徹底することで環境事故防止を図ります。また、発生頻度の低い事案についても同様に徹底を図ります。

次の50年、100年も社会から認められ存続できる大成グループであるために、一人ひとりが環境管理の重要性を正しく認識して、日々の業務に揺るぎなく邁進していきましょう。



建築総本部長
山浦 真幸

— 「環境事故ゼロ」は社会の要求 —

社長メッセージにもあるように、今年度は「TAISEI VISION 2030」の第二フェーズとしての中期経営計画（2024-2026）が始まります。当社は環境に配慮したビジネスを行い、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。環境事故は環境への悪影響を及ぼすだけでなく、当社の信用を失墜させる深刻な事態となります。

環境事案のトラブル発生や法律違反を起こした企業に対する厳しさが増していることを社員、専門工事業者の一人ひとりが強い認識を持ち、2020年度から環境事故ゼロを継続して達成しています。然しながら建築工事においても石綿、工事排水、PCB関連などによる警鐘環境事案等は毎年の様に発生している事を見逃してはいけません。昨今のリニューアル工事の増大、大規模な再開発に伴う解体工事、新築においても既存取合いのある工事などが増える傾向にあることも工事の複雑化、難易度を上げている状況にあります。

当社では工事の着工から竣工までの各プロセスにおいてチェック機構が働く仕組が構築されていますが、リスクアセスメントや対策が十分であるとは言えません。一連の警鐘環境事案等を振り返ると肝心の『事前の図面確認』、『事前の現地確認』などが疎かであったことが多くの事案に起因しています。工事に携わる関係者の全てが『環境問題が社会に大きな影響を与える』ことを十分に理解し、今一度原点に立ち返り、三現主義を中心とした各工事における①環境リスクの抽出、②対策の立案、③日々の管理手法や管理状況の確認を行い、本年も『環境事故ゼロ』を達成しましょう。



土木本部長
白川 賢志

— 「環境事故ゼロ」の継続と環境負荷低減への挑戦 —

社会に目を向けると環境、とりわけ脱炭素への関心は年々高まりつつあり、発注者からも脱炭素に関する取組を要求される工事が増えてきています。

当社は「TSA (TAISEI Sustainable Action)」を展開し、2050年のカーボンニュートラル実現を目指しています。社員の脱炭素への意識やTSAへの取組状況は着実に向上していますが、2050年の目標達成のためには、当社の生産拠点である作業所での更なる取組が重要となります。省エネ技術の推進、効率的な施工、ミス・ロスの削減など、専門工事業者の皆様と共に協力して環境負荷低減に挑戦していきましょう。

環境関連法令は年々厳しく改正され、社会の環境に対する要求が高くなってきています。安易な考えや行動は環境事故に直結し、企業イメージの低下や社会的信用の失墜を招きます。

環境トラブルは、知識不足、誤った判断、横着など、人為的原因により発生しており、昨年度は濁水プラントでセンサー不良により工事排水があふれるという警鐘環境事案が発生しました。工事排水の管理、PCB（土木は塗料）、アスベストの事前調査、建設廃棄物、汚染土壌など、現場でわからない場合や判断に迷った場合は、一旦立ち止まって「まず確認」を励行して下さい。

環境負荷低減に挑戦するとともに、「環境事故ゼロ」を継続していきましょう。

安全衛生環境協力会連合会 環境委員会の取り組み

1. 支店安全衛生環境協力会環境パトロール・環境教育の継続強化

- ・支店安衛協環境パトロールに安衛協連合会環境委員長と事務局が同行して、「安衛協連合会環境パトロール点検表」の運用状況の確認と現地OJTによるパトロールの強化を継続して図ってまいりました。
- ・「安衛協連合会環境パトロール点検表」の書式を一部改訂し、使いやすくしました。
- ・支店安衛協環境委員会に事務局が出席し、支店安衛協環境委員長とともに2023年度「協力（環境特集）」を活用した環境教育を実施し、環境知識の深耕に努めました。
- ・災害防止協議会資料に「協力（環境特集）」を盛り込み、周知徹底の強化を図りました。

2. 環境ポスターの6か国語版作成

- ・環境ポスターを6か国語版に改訂し、多くの作業員が内容を理解しやすくしました。

〔連合会環境委員の紹介〕

2024年3月現在

支店	委員	支店	委員
委員長	高山 義典 委員長	中国支店	野田新太郎 委員
東京支店	西川 岳人 委員	横浜支店	田玉 昌之 委員
関西支店	間口 豪 委員	北信越支店	小林 一清 委員
中部支店	坂井 達也 委員	四国支店	北村 隆政 委員
九州支店	渡邊陽一郎 委員	千葉支店	出水 裕之 委員
札幌支店	工藤 賢一 委員	関東支店	川野 陽平 委員
東北支店	本田 弘 委員	エンジニアリング本部	林 幸生 委員

〔環境委員会開催状況〕 於：四国支店高知橋耐震補強工事



1. 支店安全衛生環境協力会環境パトロール・環境教育の継続強化

支店安全衛生環境協力会 環境パトロール

作業所巡視



残塗料等の廃液集積缶



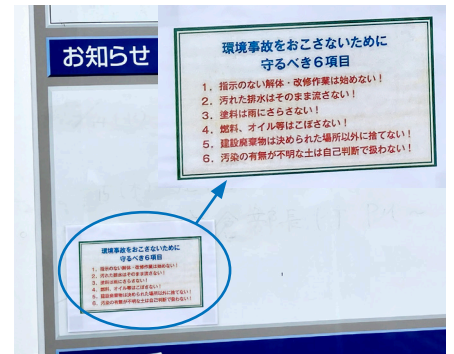
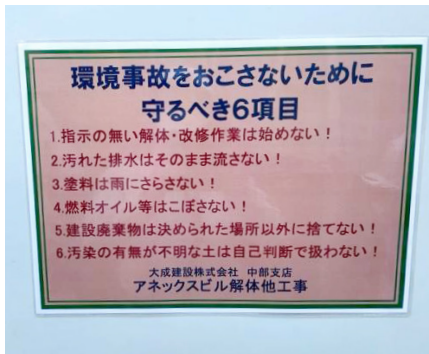
作業員詰所への掲示物



6か国語のワンポイントレッスン



「環境事故をおこさないために守るべき6項目」ポスターの掲示



支店安衛協作成の横断幕



支店安全衛生環境協力会 環境教育

環境教育① 九州支店



環境教育② 北信越支店



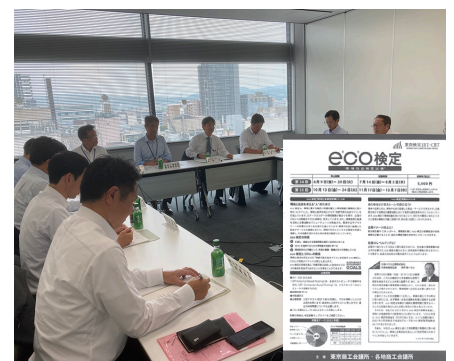
環境教育③ 関東支店（作業所、支店）



環境教育④ 横浜支店



環境教育⑤ 東北支店



1. 支店安全衛生環境協力会環境パトロール・環境教育の継続強化

環境パトロール点検表の一部改訂

安全衛生環境協力会連合会 環境パトロール点検表（記載例）

支店/支部名	〇〇〇 支店 / 〇〇 支部		点検日	2024年 〇月 〇日 (〇)		
作業所名	〇〇ビル改修工事業所		作業所長	〇〇 〇〇	立会者	〇〇工事課長、〇〇設備次長
点検者 (会社名/氏名) ※支店立会者も記入	〇〇建設 鈴木一郎	△△工務店 山田 太郎	◇◇電気工業 佐藤 次郎	●●土木 田中 二郎	支店建築部 大成 三郎	支店安環部 安全 四郎
工事基本情報 元請事前ヒアリング	工事種別【新築 改修 解体・その他】		石綿【有 (LV1 2) 3)・無】	有の場合：養生方法、一時保管置場の施設等		
	PCB含有機器等【有 (無) 有の場合：養生方法、周知方法、施主との合意事項等】			汚染土壌【有 (無)】	フロン【有 (無)】	
点検項目			結果 (〇×-)	対策例、気づいた点等		
元請社員	全般	作業中に環境に関してヒヤリハットはなかったか。	〇	例) 無し：〇、有り：× 有りの場合は具体例を記載		
	工事排水・ オイル・ 塗料	元請社員は、工事排水の排水経路を確認しているか。	〇	ノッチタンクから河川に排水		
		元請社員は、工事排水の排出基準を把握しているか。	〇	排水はpH5.8～8.6で管理、ノッチタンクに表示有り		
		元請社員は、排出基準を満たさない工事排水（水、油、塗料洗浄水）が流出した時の対処方法を確認しているか。	〇	排水を止める手順有り		
		元請社員は、工事排水が出る作業箇所に吸着マットやウエス等の緊急資材を準備しているか。またその使用方法を確認しているか。	〇	・緊急資材（吸着マット、ウエス等）の準備有り ・緊急資材の使用法を確認		
		元請社員は、降雨により流れ出す恐れがあるもの（塗料、 그리스等）は捨てられていないか確認しているか。	×	中身の入っている塗料缶が屋外に放置されているので、倉庫内に保管のこと		
	PCB	元請社員は、PCBの有無、保管場所等を把握しているか。PCBが「有」の場合、全社員が保管場所や取扱基準等を正しく認識しているか。	〇	PCB含有機器等は所有者（発注者）にて処分済		
	石綿	元請社員は、石綿「有」の場合、工事に必要な届出がされていることを確認しているか。	〇	20●●年●月●日届出済		
	廃棄物	廃棄物は現場内の保管場に品目毎に分別・保管しているか。	〇	各コンテナに廃棄物が品目ごとに整理されている		
	汚染土壌	元請社員は、汚染土壌の有無、範囲を把握しているか。	〇	汚染土壌無し		
フロン	フロンの有無を事前調査し、その結果を関係者全員に周知しているか。またやむを得ず工事範囲内にフロン未回収の配管等がある場合は、その旨を注意表示しているか。	〇	事前調査の結果、フロンが未回収の配管等が無い旨を関係者全員に周知済			
職長・作業員	全般	作業中に環境に関してヒヤリハットはなかったか。	〇	石綿含有配管エルボ除去時の誤切断に注意		
	工事排水・ オイル・ 塗料	作業員は、工事場所に有害物質（石綿・PCB）の有無を確認しているか。	〇	新規入場者教育時に有無を確認している		
		作業員は、現場で守るべき環境項目、またその目標値について教育を受けているか。※教育資料の確認等	〇	新規入場者教育時に受けている		
		作業員は、工事排水はどこに流すか確認しているか。	〇	河川へ排出		
		作業中に燃料・オイルが漏れていないか、漏れ出す恐れはないか。	〇	オイルパン付き発電機を使用、作業中の漏れ無し		
		作業員は、塗装工事後の残塗料、ハケ等道具の洗浄水の処分方法を確認しているか。	〇	・残塗料は漏れないように廃棄 ・手洗い場に注意喚起の看板掲示有り		
作業員は、工事排水が出る作業箇所に吸着マットやウエス等の緊急資材を準備しているか。また緊急資材の使用法を確認しているか。	〇	・緊急資材（吸着マット、ウエス等）の準備有り ・緊急資材の使用法を確認				
廃棄物	廃棄物は現場内の保管場に品目毎に分別・保管しているか。	〇	各コンテナに廃棄物が品目ごとに整理されている			
【解体・改修工事の場合のみ確認】						
職長・作業員	全般	作業員は、指示されていない解体、改修工事は始めないことを把握しているか。※ポスター等の掲示確認も含む	×	ポスター等の掲示が無いので掲示すること		
	石綿	職長、作業員は石綿の有無を把握しているか。	〇	事前調査結果の看板有り		
		作業員は、石綿には大成職員、職長の指示なく触れないことを教育されているか。	〇	新規入場者教育時に受けている		
	PCB	職長、作業員は、PCB含有電気機器（トランス、コンデンサ）等のPCB廃棄物の有無を把握しているか。	〇	新規入場者教育時に当該工事にPCB含有電気機器が無いことは周知されている		
作業員は、PCBには大成職員、職長の指示なく触れないことを教育されているか。		-	該当無し			
フロン	作業員は、工事範囲内のフロンの有無について大成職員、職長から説明を受けているか。	-	該当無し			
環境事故防止の好事例	職長会活動の一環で環境パトロールが毎週実施され、指摘事項が的確に作業所内に水平展開されている。					
環境事故防止へのアドバイス	※作業所が抱えているリスクの検証と作業所が抱えていないリスクの発見 石綿含有配管エルボ除去時に誤切断しないよう、切断箇所の表示を大きく表示して欲しい。					
作業所、職長会への要望 他	職長会とのヒアリングの中で、今後の繁忙期と夏の酷暑対策として休憩所の増設と、エアコンの設置要望があったので、検討願います。					
作業所長からコメント	職長会が活発に活動していただくことで、作業所の環境管理の維持・向上に寄与していただいております。今後も環境事故防止に向けてご協力をお願いいたします。					

2. 環境ポスターの6か国語版作成

環境事故をおこさないために守るべき6項目

環境事故をおこさないために 守るべき6項目

1. 指示のない解体・改修作業は始めない！
2. 汚れた排水はそのまま流さない！
3. 塗料は雨にさらさない！
4. 燃料、オイル等はこぼさない！
5. 建設廃棄物は決められた場所以外に捨てない！
6. 汚染の有無が不明な土は自己判断で扱わない！

二次元コードからも
アクセスできます。



日本語、英語、中国語、ベトナム語に加えてインドネシア語とミャンマー語を新たに追加

指示のない解体・改修作業は始めない！
Be sure to confirm the handling of materials before disassembly work begins.

拆除作业前，应该仔细确认指示的内容！
Không tiến hành phá dỡ và cải tạo nếu không có sự hướng dẫn.
Pastikan untuk mengonfirmasi penanganan material sebelum pekerjaan pembongkaran dimulai.
ညွှန်ကြားချက်မပါဘဲ ဖြိုဖျက်ခြင်း သို့မဟုတ် ပြုပြင်ခြင်းလုပ်ငန်းကို စတင်ခြင်းမပြုပါနှင့်။

石綿・PCB etc...

トラブルは放置しないですぐ対処
Should you discover that these rules are not being observed, immediately notify the construction supervisor.
当发现有违反前述这些规则时，请立即向现场监督的工程师报告
Không để vấn đề tồn đọng mà phải xử lý ngay lập tức
Jika Anda menemukan bahwa peraturan ini tidak dipatuhi, segera beritahukan kepada pengawas konstruksi.
အခက်အခဲပြဿနာကို လျစ်လျူမရှုထားဘဲ ချက်ချင်းဖြေရှင်းရန်။

TAISEI CORPORATION
For a Safer World

汚れた排水はそのまま流さない！
Do not discard dirty water off the worksite.

汚染の排水不可以直接排放到场外！
Không đổ nước thải ra các hệ thống thoát nước công cộng.
Jangan membuang air kotor dari tempat kerja.
ညစ်ပတ်သောရေဆိုးများကို မရှို့ပစ်ပါနှင့်။

トラブルは放置しないですぐ対処
Should you discover that these rules are not being observed, immediately notify the construction supervisor.
当发现有违反前述这些规则时，请立即向现场监督的工程师报告
Không để vấn đề tồn đọng mà phải xử lý ngay lập tức
Jika Anda menemukan bahwa peraturan ini tidak dipatuhi, segera beritahukan kepada pengawas konstruksi.
အခက်အခဲပြဿနာကို လျစ်လျူမရှုထားဘဲ ချက်ချင်းဖြေရှင်းရန်။

TAISEI CORPORATION
For a Safer World

塗料は雨にさらさない！
Fresh paint must not be exposed to rain.

油漆不要被雨水冲刷！
Không để vật liệu sơn tiếp xúc với mưa.
Cat baru tidak boleh terkena hujan.
သုတ်ဆေးများကို မိုးရေနှင့်တိုက်ရိုက်ထိတွေ့ခြင်းမပြုရ။

トラブルは放置しないですぐ対処
Should you discover that these rules are not being observed, immediately notify the construction supervisor.
当发现有违反前述这些规则时，请立即向现场监督的工程师报告
Không để vấn đề tồn đọng mà phải xử lý ngay lập tức
Jika Anda menemukan bahwa peraturan ini tidak dipatuhi, segera beritahukan kepada pengawas konstruksi.
အခက်အခဲပြဿနာကို လျစ်လျူမရှုထားဘဲ ချက်ချင်းဖြေရှင်းရန်။

TAISEI CORPORATION
For a Safer World

燃料・オイル等はこぼさない！
Do not spill fuel or oil.

避免燃料、油等噴濺出來！
Không làm tràn nhiên liệu, dầu, vv.
Jangan menumpahkan bahan bakar atau minyak.
လောင်စာဆီ စသည်တို့ကို မဖိတ်စေနှင့်။

トラブルは放置しないですぐ対処
Should you discover that these rules are not being observed, immediately notify the construction supervisor.
当发现有违反前述这些规则时，请立即向现场监督的工程师报告
Không để vấn đề tồn đọng mà phải xử lý ngay lập tức
Jika Anda menemukan bahwa peraturan ini tidak dipatuhi, segera beritahukan kepada pengawas konstruksi.
အခက်အခဲပြဿနာကို လျစ်လျူမရှုထားဘဲ ချက်ချင်းဖြေရှင်းရန်။

TAISEI CORPORATION
For a Safer World

建設廃棄物は決められた場所以外に捨てない！
Discard construction waste in the proper garbage containers.

不要的垃圾一定要丢弃在指定的垃圾桶，不可以随意棄置！
Wớt rác thải đúng nơi quy định, không xả rác bừa bãi.
Buanglah limbah konstruksi ke dalam wadah sampah yang tepat.
စွန့်ပစ်ဖွယ်ရာများကို သတ်မှတ်ထားသောအဆင့်မှလွဲ၍ မဖျံ့။

トラブルは放置しないですぐ対処
Should you discover that these rules are not being observed, immediately notify the construction supervisor.
当发现有违反前述这些规则时，请立即向现场监督的工程师报告
Không để vấn đề tồn đọng mà phải xử lý ngay lập tức
Jika Anda menemukan bahwa peraturan ini tidak dipatuhi, segera beritahukan kepada pengawas konstruksi.
အခက်အခဲပြဿနာကို လျစ်လျူမရှုထားဘဲ ချက်ချင်းဖြေရှင်းရန်။

TAISEI CORPORATION
For a Safer World

汚染の有無が不明な土は自己判断で扱わない！
Do not touch soil if it has an unusual color or smell

当不确定土是否会产生污染时，要报告确认！
Không tự ý phán đoán đất có bị ô nhiễm nếu chưa chắc chắn.
Jangan sentuh tanah jika warnanya atau baunya tidak biasa.
ညစ်ညမ်းခြင်းရှိမရှိ မရှင်းလင်းသော မြေဆီလွှာကို သင့်ကိုယ်ပိုင်ဆုံးဖြတ်ချက်ဖြင့် မကိုင်တွယ်ပါနှင့်။

トラブルは放置しないですぐ対処
Should you discover that these rules are not being observed, immediately notify the construction supervisor.
当发现有违反前述这些规则时，请立即向现场监督的工程师报告
Không để vấn đề tồn đọng mà phải xử lý ngay lập tức
Jika Anda menemukan bahwa peraturan ini tidak dipatuhi, segera beritahukan kepada pengawas konstruksi.
အခက်အခဲပြဿနာကို လျစ်လျူမရှုထားဘဲ ချက်ချင်းဖြေရှင်းရန်။

TAISEI CORPORATION
For a Safer World

ヒヤリハット事例

「環境事故をおこさないために守るべき6項目」を事例別にイラスト化しました。事業主教育等の環境教育に活用し、環境事故防止活動に役立ててください。

データ格納場所：TAISEI Partners Site > 環境 > 協力的会連合会から（お知らせ・機関誌・資料他）

1. 指示のない解体・改修作業は始めない！（石綿）

【石綿】解体工事中での石綿含有建材（おそれ）の発見／調査漏れ

トイレの改修工事に伴い壁タイルの除去を開始した。石綿事前調査ではタイル下地が「耐水ベニヤ」であり「石綿含有なし」の結果であったものの、実際にはタイル下地の大部分が「けい酸カルシウム板第1種」であった。

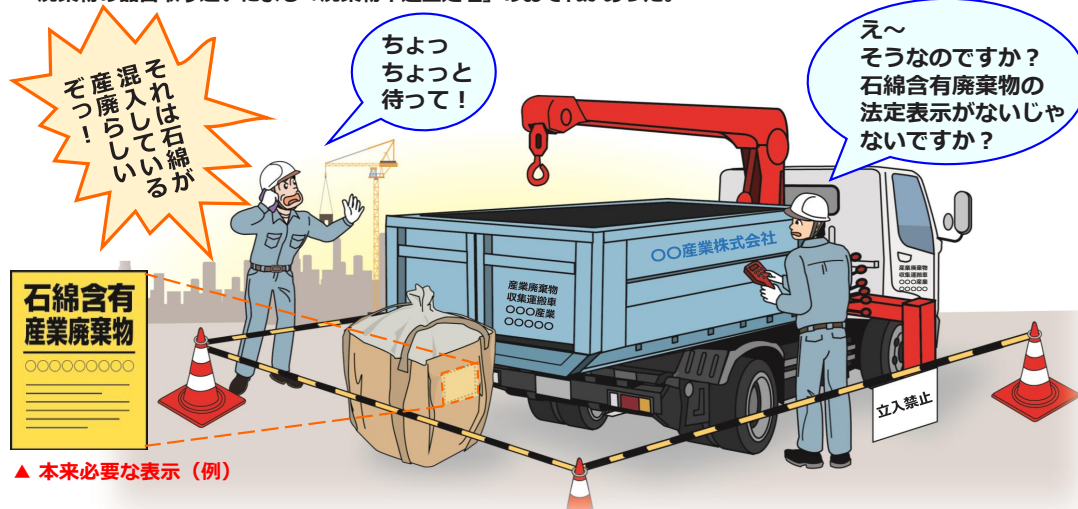


【留意事項】

- 解体・改修工事の**着工前**には、元請業者が実施した「**石綿有無事前調査結果**」を、**工事関係者全員で確認**する。
(石綿ありの場合は、石綿有資格者による作業に限られ、法令上の各種作業基準等を順守して作業を行わなければならない。)
- 上記に関わらず、解体・改修工事中に**石綿含有が「疑われる」**または「**不明**」な建材等が**新たに発見**された場合は下記とする。
⇒ 直ちに**工事を中断**し、職長等の**工事責任者に報告**。(職長等は元請社員に報告)
⇒ 職長等の指示に基づき、**当該箇所の立入禁止措置および表示**。(以後、職長等・元請社員の指示による)
(参考) トイレや給湯室、脱衣室、厨房等の水廻りには、ケイカル板1種(石綿含有の可能性)が使われているケースが多い。

【廃棄物／石綿】石綿含有廃棄物（レベル3）表示不備に伴う廃棄物不適正処理

「石綿含有廃棄物（レベル3）」廃棄袋等に必要な、法定／注意表示がされていないことが原因で、廃棄物の品目取り違いによる「廃棄物不適正処理」のおそれがあった。



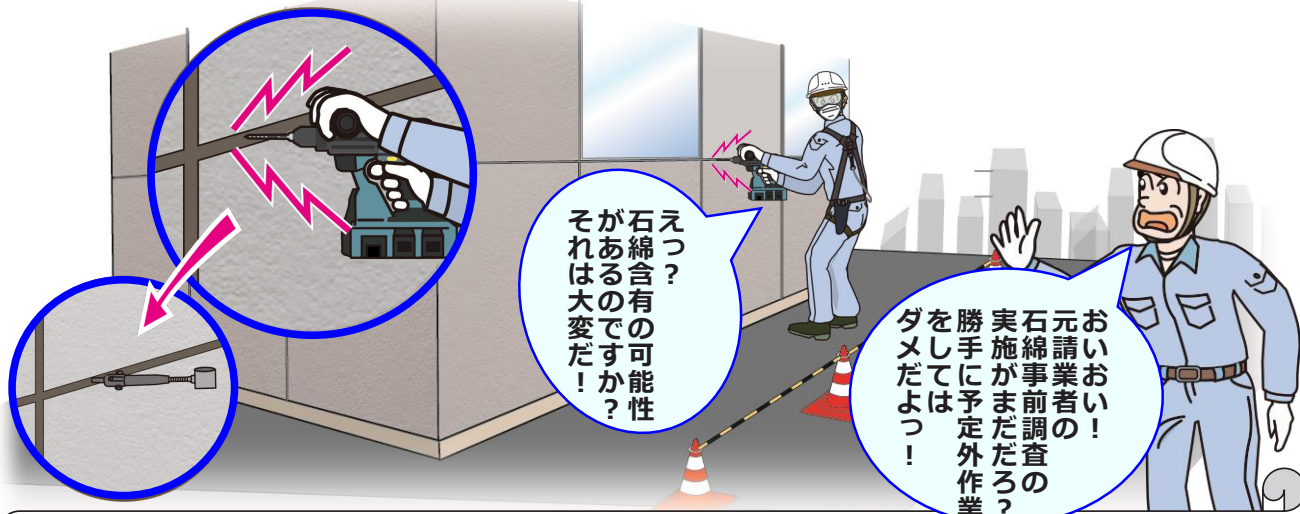
【留意事項】

- 石綿含有廃棄物（レベル3）は、**『確実な包装』**を行うとともに、個々の包装の見やすい箇所に**「石綿等が入っていること」**および**「取扱い上の注意事項」**を**『表示』**し**『他の産廃と分別』**して取り扱う。
- レベル1および2の廃棄物は、廃石綿等（特別管理産業廃棄物）**となり、石綿含有廃棄物（レベル3）とは管理基準等が異なることに注意が必要。

1. 指示のない解体・改修作業は始めない！（石綿、PCB）

〔石綿〕 外壁仕上塗材面へのアンカー打設／石綿事前調査の実施なし

鉄筋コンクリート造（RC造）外壁（仕上塗材）補修工事において、外部足場設置のための壁つなぎ／アンカー打設作業を行った。しかしながら、工事着工前に実施すべき石綿事前調査が未実施のままアンカー打設作業を開始した。



【留意事項】

- ・解体・改修工事の**着工前**には、**元請業者の責務**として**建築物石綿含有建材調査者**による「**石綿事前調査**」が必要。
- ・解体・改修工事の**着工前**には、元請業者が実施した「**石綿有無事前調査結果**」を**工事関係者全員で確認**する。
（石綿ありの場合は、法令上の各種規定を順守して作業を行わなければならない。
なお、壁つなぎ打設作業時の対応は、所轄環境行政等により指示・指導致異なる場合があるため、職長等工事責任者を通して元請社員に事前確認すること。）
- ・建材等に石綿（アスベスト）が含有していた場合、**石綿含有粉じんを吸入**すると命に係わる**重篤な健康被害に遭う**可能性がある。
（参考）石綿健康被害の例：肺がん、中皮腫（内臓を包む膜に生ずるがん）、石綿肺（じん肺の一種）等

〔PCB／廃棄物〕 客先管理 PCB含有廃棄物の工事エリア内残置（誤廃棄のおそれ）

法令上、発注者（所有者）が管理および廃棄物処理しなければならない「PCB含有廃棄物」が、解体・改修工事エリア内に無防備に残置されていた。施工業者が「建設廃棄物」と間違えて産廃処理してしまうおそれがあった。



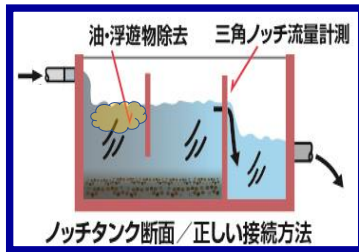
【留意事項】

- ・法令上「**PCB含有廃棄物**」は、**所有者が管理および廃棄物処理**しなければならない。（**施工業者による産廃処理は違法**）
- ・「PCB含有廃棄物」は原則として、工事エリア内に残置されるべきではない。（元請から発注者（所有者）に対して移動を申し入れる）やむを得ず、**工事エリア内に残置される場合**には、**全ての工事関係者に対し「PCB含有廃棄物」に手を触れることの無い様に周知を徹底**する必要がある。（元請から発注者（所有者）に対しては、「施錠管理」や「注意表示」等を申し入れる）
（参考）PCB：無色透明の油状物質。かつて電気機器の絶縁油等に使用。主な健康被害は、癌、皮膚障害、肝機能障害等。

2. 汚れた排水はそのまま流さない！

〔工事排水〕 ノッチタンクの不適切使用（流入／流出が逆）

ノッチタンクへの給排水管の接続方向を逆としたことが原因で、ノッチタンク本来の性能を満たすことができない状態であった。



【留意事項】

- ・ノッチタンクの主な使用目的には「油、その他浮遊物の除去」、「砂、泥等の沈殿」、「排水流量計測」があり、**流入側と流出側を正しく使用**することにより適正に機能する。
- ・上記の他、必要に応じて、汚濁やpH（酸／アルカリ）等も併せて処理が必要となる場合がある。
- ・工事排水の**排水先（河川、下水、湖沼、海洋等）により排水基準が異なる**ため、あらかじめ排水基準を確認の上、排水基準に適合するように**適正処理した後に排水**する必要がある。

3. 塗料は雨にさらさない！ ※類似例

〔塗料・排水（廃棄物）〕 流出塗料の洗浄排水／不適正処理（水質汚濁・不法投棄）

塗装工事中に塗料缶を転倒させ塗料をこぼした。処理を急ぐあまり流水で洗浄したところ、廃水処理まで気がまわらずに洗浄水の不適正処理（水質汚濁・廃棄物不法投棄）に至った。



【対応例】

- ① 流出経路の遮断
- ② 塗料等の回収
- ③ 拭き取り・洗浄等
- ④ 洗浄水の回収、産廃処理等 適正処理

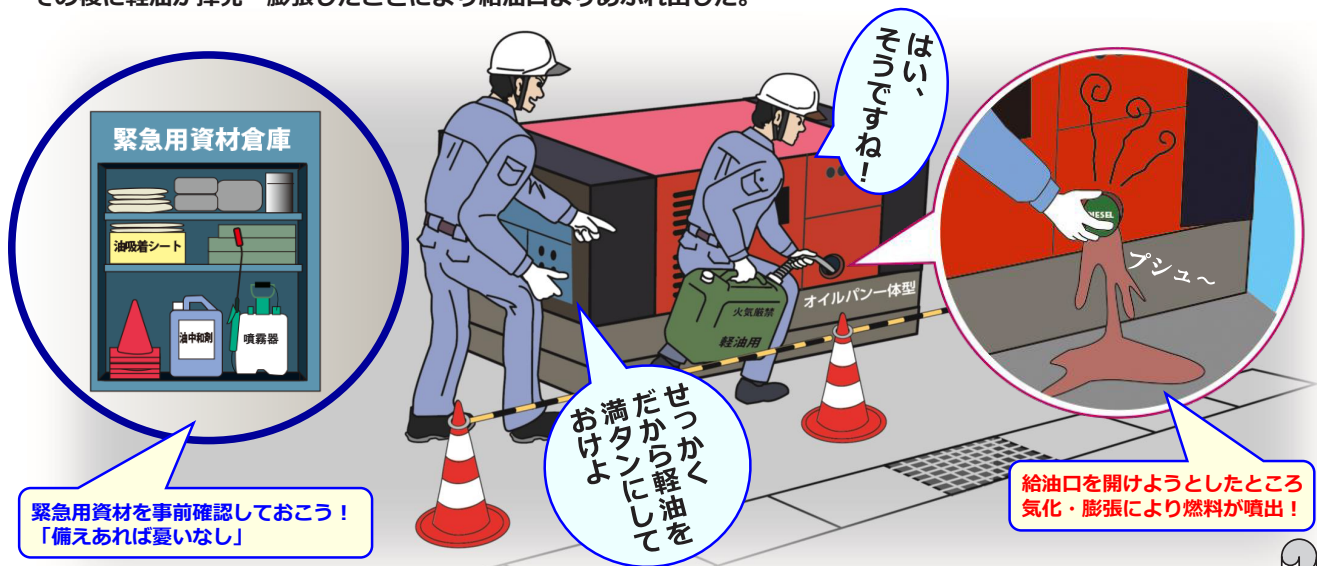
【留意事項】

- ・塗料等の洗浄水は、河川や下水等を汚す「水質汚濁」のみならず、廃棄物の「**不法投棄**」の法令違反となる。
（参考）水質汚濁防止法／基準外排水：6月以下の懲役若しくは50万円以下の罰金
廃棄物処理法／不法投棄：5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金又はその両方
- ・まずは、**塗料等をこぼさない**こと、**こぼしても流出させないダブルセーフティが重要**。（転倒防止、パン・シート敷等）
- ・万一、**塗料等をこぼしてしまったら**、すぐに「**職長等責任者に報告**」し、指示に基づき**適正処理**を行う。（職長等責任者は元請社員に報告）（例：①塗料等流出経路の遮断、②塗料等の回収、③拭き取り・洗浄等、④洗浄水の産廃等適正処理）

4. 燃料・オイル等はこぼさない！

【燃料・オイル】給油口いっぱいまで給油した軽油が揮発・膨張によりあふれ出た

工事仮設用の発電機に燃料の軽油を給油した際に、給油口いっぱいまで給油したところ、その後に軽油が揮発・膨張したことにより給油口よりあふれ出した。



【留意事項】

- ・給油口いっぱいまでの給油は、燃料の揮発・膨張のほか、機器の揺れ等が原因であふれ出ることがある。ゆえに、給油は給油口いっぱいまで入れずに若干少なめでとどめる。
- ・万一の燃料・オイル漏れに備えて「緊急用資材倉庫」の場所および「緊急用資材」を事前確認しておくこと。
(例) 油吸着マット/オイルフェンス等 (各作業所で必要とされる資材が用意されている)
(参考) 軽油: 危険物/第4類/第2石油類、引火点約45℃ (45℃以上で気化・膨張する)

【建設発生土/燃料・オイル】油混入建設発生土の仮置き状態不備による油の流出

油が混入した建設発生土の搬出先が決まらぬまま、建設現場の場内に仮置きしていたところ、シート養生等が不十分であったために油が流出し、場内の排水側溝に流れ込み、最終的に被害は河川にまで及んだ。



【留意事項】

- ・「油混入建設発生土」等からの油流出防止対策を行う。
- ・万一、油が流出した場合の対処方法を関係者全員に周知し、緊急時に迅速かつ適切な対応が取れるようにする。

5. 建設廃棄物は決められた場所以外に捨てない！

〔廃棄物〕産廃分別不良／許可品目外の産廃混入による産廃業者側の受入れ拒否

解体工事で発生した「がれき類（コンクリートがら）」に、廃プラスチック類の他、ガラスくず、木くず、紙くず等の「許可品目外」の産廃混入により、産廃業者から受入れを拒否され、現場への引き返しが余儀なくされた。



【留意事項】

- ・産廃の「分別や保管等」について、あらかじめ職長等の責任者に確認すること。（職長等は元請社員に確認する。）
- ・建設現場ごとに決められた「産廃品目（種類）」に従い、産廃を適切に分別すること。
- ・職長等の責任者は、適宜「産廃の適正な分別状況」を確認する。（元請社員は、産廃排出前・排出時に再確認する。）
- ・契約した産廃業者ごとに、処理（収集運搬および処分）可能な産廃は異なり、許可品目外の産廃は受入れてもらえない。

〔廃棄物〕専門工事業者による産廃の無断持ち帰りおよび不法投棄

施工後の手直し工事で発生した不要材である産業廃棄物について、専門工事業者の運転手が元請業者に無断で持ち帰った。自社への廃棄物持ち帰りを咎められることをおそれた運転手は、途中の道路脇の山林に廃棄物を不法投棄した。廃棄物に製品メーカー名・工事現場名が記載された不要部材、設計図書が混入していたことから不法投棄が発覚した。



【留意事項】

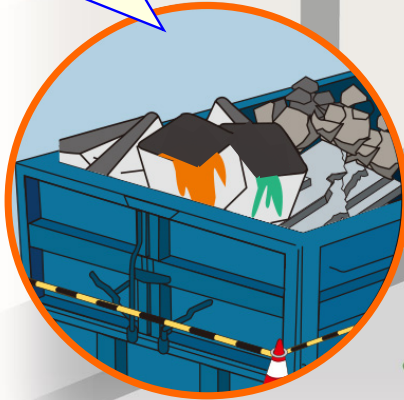
- ・工事現場で発生する不要物である「産業廃棄物」の処理責任は「元請業者」にある。ゆえに、専門工事業者による「産業廃棄物」の持ち帰りは厳禁！（教育等により、関係者全員の知識の習得、意識の向上に努める。）
- ・不要物である「産業廃棄物」の該当有無は、安易に判断することなく職長等の工事責任者に確認する。（職長等は元請社員に）（再使用、再利用等が可能なものは、不要物である「産業廃棄物」に該当しない。該当有無の判断については同上。）
- ・当然ながら「廃棄物の不法投棄」は厳禁！（罰則：個人 5年以下の懲役、1千万円以下の罰金／会社 3億円以下の罰金（補足）産廃の発生量抑制の観点からもリデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再生利用）を心掛ける。

5. 建設廃棄物は決められた場所以外に捨てない！

〔廃棄物／塗料〕未硬化塗料付着／塗料缶の廃棄に伴う塗料流出・道路汚損

未硬化の塗料が付着している塗料缶を産廃コンテナに廃棄した。産廃コンテナの搬出に伴い、産廃車両が一般道を走行中に、雨水により溶出した塗料が流れ出し、道路を汚損した。

未硬化の塗料が付着した塗料缶が不用意に捨てられていた。



あつ！道路にペンキがこぼれてるッが

【留意事項】

- ・硬化する前の塗料を、産廃コンテナに廃棄しないこと。（運搬・移動時等に塗料流出のおそれあり。）
（油性・水性のいかんに関わらず、降雨等により溶出する可能性あり。）
- ・塗料缶は塗料等付着物が無い状態で、鉄くず（スクラップ）として処理することを原則とする。
- ・硬化した塗料や塗料の付着物の廃棄時は、その性状等により産廃品目が異なるため、職長（元請社員）に確認すること。
（廃プラスチック類／汚泥／その他）

6. 汚染の有無が不明な土は自己判断で扱わない！

〔建設発生土／汚染土壌〕準備工事（掘削）における汚染土壌の管理等不備

準備工事での外構／設備配管敷設（掘削）において、周知不徹底および関係者の不知等を要因として、汚染土に関する必要な届出が無届のほか、地方条例および処分場の受け入れ基準確認のための有害物質の分析調査の未実施等不備があった。



掘削等前に汚染土に関する届出が必要だったのでは？

掘削土はどのくらい汚染土が混入しているのか？

え、そんなルールがあるのですか？

【留意事項】

- ・「建設発生土」や「汚染土壌」については、土壌分析調査結果と、その処分方法を元請に確認する。
- ・本体工事に先行した準備工事（設備工事・外構工事）を行う場合、管理・確認がおろそかになるケースがあるため注意のこと。

支店・本部安全衛生環境協力会の取り組み

- 2023年度も各支店およびエンジニアリング本部の安全衛生環境協力会は、環境教育や環境パトロールを通じて環境事故をおこさないために守るべき6項目を中心に環境事故防止活動を積極的に継続実施しました。
- また、職長会や安衛協会員による環境保全活動等、地域貢献活動も実施しました。
- 新型コロナウイルスが「5類感染症」に移行したことに伴い、支店、本部とも環境教育および環境パトロール・職長会活動等の各活動が活発に行われるようになりました。
- ここでは各支店および本部安全衛生環境協力会環境委員長から活発な活動に向けた今年度の意気込みを紹介します。今後も環境事故防止活動を継続し、環境事故撲滅に努めます。



東京支店
西川委員長

環境事故をおこさないために守るべき6項目に於いて、やるべき事、やってはいけない事は、たとえ面倒でも必ず守る。恒常的に行う作業は、ついつい油断する畏れがあります。気付いたら必ず声掛けをして、互いの意識を高めるようにします。特に排水は、各々の職種において各規制を確認する意識を持つ事が、意識高揚の第一歩です。皆が環境管理の意識をさらに向上する雰囲気醸成できる協力会を目指していきます。



関西支店
松本委員長代理

関西支店においては、現在「環境事故ゼロ15年間継続中」です。社会に対する責任を果たす為「環境も一人ひとりが責任者」との意識の必要性を実感しております。

今年度は、「環境事故を起こさない為の6項目」の一層の周知徹底を図り、「警鐘環境事案」も、ゼロ件にする信念で「環境事故防止」に取り組むと共に「環境」への取り組みをさらに進化・改善させ、社会貢献活動を通じ、「環境保全」にも取り組んで参る所存です。



中部支店
坂井委員長

今年度は特に「環境事故をおこさないために守るべき6項目」を徹底的に広め、各作業員に遺漏なく周知いたします。具体的には各現場のPT、職長会を通して、ひとたび環境事故をおこした時の影響がいかに大きなものなのかについて教育して行きたいと考えております。そして社会貢献活動の一環として、地域のクリーンアップ活動も続けて行きます。



九州支店
渡邊委員長

一度発生してしまうと、多大な影響・ダメージとなる環境事故を発生させない為、環境パトロールの継続と、『守るべき6項目』の啓蒙を根気強く進めて参ります。

連合会環境委員会を通して他支店の活動や好事例を学び、九州支店内でも紹介・展開出来る様にトライします！！『環境事故ゼロの継続！』ご安全に！



札幌支店
工藤委員長

引き続き、『環境事故防止為の「6項目」』の職長・作業員への啓発・教育を充実してまいります。

また、職長会の環境活動が活発になって来ている中、環境委員会によるアシストを強化し、より自発的で有効性の高い職長会による環境活動をサポートしていきます。「環境事故ゼロ」の継続の為、環境リスクを見逃さずリスクの予防・軽減を実行できるよう研鑽・展開していきます。



東北支店
本田委員長

昨年は、コロナ以前に実施していた、環境ボランティア活動を全面的に再開することができました。

今年も各支部による環境ボランティア活動を継続実施し、会員各社の環境意識の向上を図るとともに、各種環境教育・環境パトロールにより、環境事故防止力の強化に努めてまいります。



中国支店
野田委員長

近年、建設業に求められている環境項目は日々変化しています。

都市部と比べると地方では環境に対する認識、活動が不十分なケースが散見されます。地方でも「環境事故ゼロ」の継続と環境リスクの把握に努め、協力会全員が新たな環境に適応しなければなりません。環境分野は受注にも大きな影響を与える重要な要素となると認識し、環境教育、啓蒙活動に取り組んでまいります。



横浜支店
田玉委員長

横浜支店環境委員会は、これまでと同様「環境事故ゼロの継続」を目標に活動して参ります。特に環境パトロールでは、作業所独自の環境リスクを念頭に実施し、併せて職長への教育も行うなど、環境意識の深耕に努めて参ります。

また、毎年恒例である湘南海岸美化活動は、年々参加者が増加し、開催を楽しみにしているお子さんもいますので、これからも継続していきたいと思っております。



北信越支店
小林委員長

北信越支店では、2021年度、2022年度、2023年度と3年続けて環境事案を発生させた経緯があります。コロナ禍が明けて活動制限もなくなり、従来通りの対面による委員会活動も可能となりましたので、2024年度は従来以上に環境PTや環境教育を実施し、活動を通じて会員への環境に対する意識向上に努め、環境事故等を絶対に発生させないよう委員会活動を活性化させていきます。



四国支店
北村委員長

会員各位におかれましては、日頃より安全衛生環境協力会の活動にご尽力いただき厚く御礼申し上げます。

四国支店においても年々環境に対する意識は以前より高まっていると思っております。首都圏の現場に比べると少しばかり劣っているように感じる時もあります。全国の好事例や指摘事項を支店内で水平展開するとともに、さらなる末次業者までの環境教育を徹底し、職長会を中心とした環境パトロールを強化し、「環境事故ゼロ」を継続していきたいと思っております。



千葉支店
出水委員長

今年度も現場パトロールを通じて、環境事故防止に努めていきます。特に職長との懇談会で環境事案の重要性和、守るべき6項目について説明を行い事故防止への意識向上に努めていきます。

支店環境委員会では、年6回の委員会を開催して更なる知識・意識の向上を図ります。また、今年も6月の安全推進大会で千葉県環境財団ちば環境再生基金への募金活動を続ける予定ですので皆様のご協力を宜しくお願い致します。



関東支店
川野委員長

関東支店環境委員会は、2024年度は環境への取り組みを一層強化すべく、省エネルギーの建設手法の採用や、再生可能資材の積極的な利用により、持続可能な建設プロセスを推進いたします。また地域社会と連携し、環境への配慮を最優先に考えながら美しく機能的な施設を提供したいと思っております。環境と共存する建設業の進化に全力で貢献し、未来の世代に良い影響を与えることを誓います。



エンジニアリング本部
林委員長

昨年はコロナが5類となったこともあり、北は北海道、南は九州まで広範囲に亘り、環境パトロールを実施しました。作業所の皆様におかれましてはご協力頂き、有難うございました。

環境事故ゼロ継続の為には、「環境事故は絶対に起こしてはならない」という意識を皆様と共有していきたいと思っており、その実現に向けて今年度もパトロールを精力的に行ってまいります。



T S A（環境負荷低減活動：TAISEI Sustainable Action）への協力をお願い

大成建設グループは、「持続可能な環境配慮型社会の実現」に向けてグループ全役職員でT S A（環境負荷低減活動）を展開しています。施工現場でのT S A活動は専門工事会社の皆さまの協力が必要不可欠です。

T S Aの取り組みへのご協力をお願いします。

サステナビリティ経営推進本部

- ◇2050年に向けては、グループ長期環境目標（TAISEI Green Target 2050）を定め、3つの社会「脱炭素社会」「循環型社会」「自然共生社会」の実現を目指しています。
- 3つの社会に対する施工現場でのT S A取り組みの一例を示します。

施工現場での取り組み内容は、それぞれの作業所において最適な内容を計画します。



脱炭素社会：カーボンニュートラルの実現

燃料の使用量を低減することが、CO₂排出量の削減につながります。施工時のムリ・ムダ・ムラを省くような効率的な施工を心がけましょう。



燃費基準達成建機・車両の導入



省エネ運転講習への参加



循環型社会：サーキュラーエコノミーの実現

3R（リデュース・リユース・リサイクル）＋リニューアブル（再生材の活用）が大切です。そのためには、まず施工現場での適切な分別を心がけましょう。



廃棄物の分別

古い三角コーン 再生三角コーン
再生資源化の例（三角コーン再生）




転用可能な型枠の利用



自然共生社会：ネイチャーポジティブの実現

工事が自然環境に与える悪影響を減らす（なくす）ことが重要です。保全措置が必要となる作業所においては、着実に取り組みましょう。



自然環境に関する教育への参加

希少な動植物の保全措置の実施と周知の徹底

保全のポイント（例）

- ・ 保全区域へ進入の禁止
- ・ 指定時間外の重機稼働・照明点灯の禁止
- ・ 希少な動植物発見時は職員へ連絡 など

サステナビリティ課題の解決に皆さまと当社が協力して取り組む事項をまとめた「大成建設グループサステナブル調達ガイドライン」を発行しています。環境保全や人権などについて実施すること、注意すべきことが書かれています。ぜひご覧ください。

url : https://www.taisei.co.jp/partner/pdf/csr_guideline.pdf



TAISEI Partners Siteをご活用ください



「TAISEI Partners Site」は
 協力会社の皆さんと大成建設を結ぶ情報共有サイトです
 同サイトのコンテンツには会員の皆さんが便利に利用できる資料が
 各種掲載されています。アクセスして是非ご利用ください。



環境

=安全本部・協力会連合会 = ----- 支店資料 =-----

安全本部から (お知らせ・資料他)	東京	関西	名古屋	九州	札幌
協力会連合会から (お知らせ・機関誌・資料他)	東北	中国	横浜	北信越	四国
環境教育資料 (テキスト・動画・ポスター他)	千葉	関東	エンジ		

環境教育資料 (テキスト・動画・ポスター他)

- 教育テキスト
- 安全衛生環境協力会 環境委員会 環境教育資料
- 環境事業
- 教育資料 (協力)
- ポスター
- 動画

環境教育資料



環境事業

環境事業	タイトル	発行日
環境①	工場排水処理と環境法	2004年7月15日
環境②	環境保全と水質汚濁防止法	2004年10月23日
環境③	臭気防止法と臭気防止法施行規則	2004年7月15日
PCB①	PCBの廃棄と環境法	2004年7月15日
PCB②	PCBの廃棄と環境法	2004年7月15日
環境④	環境法と環境法	2004年7月15日
環境⑤	環境法と環境法	2004年7月15日
環境⑥	環境法と環境法	2004年7月15日
環境⑦	環境法と環境法	2004年7月15日

ポスター



送り出し教育動画 (詳細は次頁)

安全本部から (お知らせ・資料他)
 ・ゴーヤdeエコ プロジェクト



協力会連合会から (お知らせ・機関誌・資料他)
 ・環境機関誌「協力」
 ・環境PT点検表 他
 ・支店安衛協環境PT記録

パソコンからアクセス

https://portal.kensetsu-site.com/login

スムーズな閲覧ができる
 ブラウザは Microsoft Edge



Microsoft EdgeおよびMicrosoftロゴはMicrosoft Corporationの登録商標です

モバイル機器から閲覧する場合のブラウザは

Google Chrome をお使い下さい
 Google ChromeおよびGoogleロゴはGoogle LLCの登録商標です

大成建設の送り出し教育(環境編)が更新されました

大成建設の送り出し教育(環境編)を改訂しました。 ※放映時間4分44秒
年2回の送り出し教育にご活用ください。

動画格納場所：TAISEI Partners Site>環境>環境教育資料(テキスト・動画・ポスター他)>動画

The screenshot shows the TAISEI Partners Site navigation menu. The '環境' (Environment) tab is highlighted with a red box. Below it, the '環境教育資料(テキスト・動画・ポスター他)' category is highlighted with a red box. A red arrow points from this category to the '動画' (Video) link in the list of environment education materials. Another red arrow points from the '動画' link to the '大成建設環境教育動画シリーズ' (TAISEI Environment Education Video Series) link.

環境教育資料(テキスト・動画・ポスター他)

- 教育テキスト
- 安全衛生環境協力会 環境委員会 環境教育資料
- 環境事案
- 教育資料(協力)
- ポスター
- 動画

「動画」一覧

大成建設環境教育動画シリーズ

大成建設環境教育動画シリーズ



大成建設の送り出し教育「環境編」

環境事故をおこさないために 守るべき6項目

1. 指示のない解体・改修作業は始めない！
2. 汚れた排水はそのまま流さない！
3. 塗料は雨にさらさない！
4. 燃料、オイル等はこぼさない！
5. 建設廃棄物は決められた場所以外に捨てない！
6. 汚染の有無が不明な土は自己判断で扱わない！

コピーして、現場で携帯するなどご活用ください。
右の二次元バーコードからもアクセスできます。

